



触れて・造って・愉しんで 中学生が建設業の魅力を体験

稲垣中生徒が「体験型現場学習会」 | 2021.10.5

■建設業へ興味をもってもらうために

これまで、高校生・大学生を中心に、現場見学会などを通じて建設業界の人材確保に向けた活動を実施してきましたが、近年の少子化・建設業離れが進んでいることから、更に若い世代である好奇心旺盛な中学生に建設業への興味をもていただくことを目的とした「体験型現場学習会」を実施しました。

(主催:一般社団法人 青森県建設業協会/青森河川国道事務所)



■建設機械への乗車を体験

今回の学習会は、申し込みのあった、つがる市立稲垣中学校において、2年生21名を対象に行われ、土木・建設業の役割、重要性等についての説明を受けたあと、バックホウや高所作業車に実際に乗車してみる建設作業機械の操作等体験を行いました。

参加者の
先生の

声

建設業は建物をつくるだけと思っていたが、被災地でも活躍していることが分かった。

様々な場面に関わっていることを知ることができて良かった。

自分で機械を動かすことができて楽しかった。

建設業は災害時のがれき処理なども行っており、とても大切な仕事だと分かった。

建設業は、多くの生徒にとって普段触れる機会がない分野。キャリア教育の一環として、建設業を体験してもらいたいと思い応募した。今回の学習を通して興味を持ってもらえたら。